



# 「江刺金札米」特別栽培米栽培暦

平成29年度

農林水産省新表示ガイドラインによる

(減農薬・減化学肥料)

特別栽培米の生産基準

種子及び対象品種		江刺金札米づくり3タイプ																									
1. 種子 全量種子更新する。 2. 品種 ひとめぼれ	省力型	土づくりと基肥が同時施用できる省力的な土づくり						稲わら + 金札有機入り春専用レギュラー 金札有機入り春専用一発						施用量 100kg/10a 施用量 100~110kg/10a													
	江刺型	地力を高める江刺型一発土づくり						稲わら + ニュー金札春一番・金札秋一番 金札フジクオー						施用量 50kg/10a 施用量 45kg/10a													
	有機物施用型	ケイ酸補給による健康な稲づくりへ向けた土づくり						堆肥 + 金札エネルギー						施用量 40kg/10a													
作業内容等	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月								
生育ステージ	播種・育苗			田植え・活着期			有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期			減数分裂期			出穂期			登熟期			成熟期		
水管理 圃場管理	畦畔の整備・補修(環境保全)			水深6~10cm (低温から稲を守る)			3cm前後(生育促進)			中干し 溝切り			間断灌水 (徐々に深水)			15cm前後 (低温から幼穂を守る)			開花期(浅水)			間断灌水(徐々に落水期間を長く)					
作業内容	種子伝染性病害予防	播種 耕起 代かき 田植え 取苗除去			中干し・溝切り			畦畔草刈り			追肥			落水収穫 (出穂後30~40日)			秋耕			土づくり肥料散布							
	農薬防除体系	堆肥・土づくり肥料散布 基肥散布			箱施用剤散布 除草剤散布			必要に応じて 除草剤散布			薬いもち・穂いもち防除			カメムシ防除													
施肥体系標準4タイプ	省力型	金札有機入り春専用 耕起						(春専用レギュラーは追肥)						稲わら 秋耕													
	江刺型	[ニュー金札春一番] 基肥 耕起						追肥						稲わら 秋耕													
	有機物施用型	堆肥「金札エネルギー」 基肥 耕起						追肥						(稲わら) (秋耕)													

肥培管理	雑草防除	病害虫防除	収穫・乾燥																																											
<h3>1. 施肥</h3> <table border="1"> <tr> <th>肥料名</th> <th>施用量 (窒素成分量) kg/10a</th> </tr> <tr> <td>新・金札ひとめぼれ</td> <td>30 (3.0)</td> </tr> <tr> <td>金札有機入りひとめぼれ</td> <td>40~50 (4.0~5.0※)</td> </tr> <tr> <td>金札有機入り春専用レギュラー</td> <td>100 (6.0※)</td> </tr> <tr> <td>側条有機入りオール10</td> <td>40~50 (4.0~5.0※)</td> </tr> <tr> <td>有機ペースト855</td> <td>40~50 (3.2~4.0※)</td> </tr> <tr> <td>コーペースト</td> <td>25 (3.0)</td> </tr> <tr> <td>追肥</td> <td>金札有機入り追肥 栄養診断による追肥 10~15 (1.0~1.5)</td> </tr> <tr> <td>基肥一発型</td> <td>金札有機入りひとめぼれ一発 50~60 (5.0~6.0※)</td> </tr> <tr> <td>基肥一発型</td> <td>金札有機入り春専用ひとめぼれ一発 100~110 (6.0~6.6※)</td> </tr> </table> <p>※窒素成分のうち50%の有機態窒素を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堆肥を1.5t/10a以上投入する場合、堆肥1t当たり基肥窒素を1kg程度減肥すること。</li> <li>●食味の低下を防ぐため、減数分裂期後の追肥はしない。</li> </ul>	肥料名	施用量 (窒素成分量) kg/10a	新・金札ひとめぼれ	30 (3.0)	金札有機入りひとめぼれ	40~50 (4.0~5.0※)	金札有機入り春専用レギュラー	100 (6.0※)	側条有機入りオール10	40~50 (4.0~5.0※)	有機ペースト855	40~50 (3.2~4.0※)	コーペースト	25 (3.0)	追肥	金札有機入り追肥 栄養診断による追肥 10~15 (1.0~1.5)	基肥一発型	金札有機入りひとめぼれ一発 50~60 (5.0~6.0※)	基肥一発型	金札有機入り春専用ひとめぼれ一発 100~110 (6.0~6.6※)	<h3>1. 耕種的防除</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○畦畔整備・補修による農薬等の流出防止。</li> <li>○代かき～田植えまでの日数は4日以内とする。</li> </ul> <h3>2. 薬剤防除</h3> <p>各剤とも使用上の注意を守り、適期散布しましょう。</p> <table border="1"> <tr> <th>薬剤名</th> <th>散布時期</th> <th>散布方法</th> </tr> <tr> <td>初期中期発芽期 月光1キロ粒剤</td> <td>移植直後～12日 ※ノビエ3葉期</td> <td rowspan="3">湛水散布</td> </tr> <tr> <td>月光フロアブル</td> <td>移植後3日～12日</td> </tr> <tr> <td>月光ジャンボ</td> <td>移植後3日～12日 ※ノビエ3葉期</td> </tr> <tr> <td>中期中期発芽期 バサグラン粒剤</td> <td>移植後25～55日</td> <td rowspan="2">落水散布</td> </tr> <tr> <td>バサグラン液剤</td> <td>対象雑草：ホタルイ・クログワイ・オモダカ等</td> </tr> <tr> <td>中期 クリンチャーEW(液剤)</td> <td>移植後20日～ノビエ6葉期</td> <td>落水散布</td> </tr> <tr> <td>中期 クリンチャー1キロ粒剤</td> <td>1kg散布：移植後7日～ノビエ4葉期 1.5kg散布：移植後25日～ノビエ5葉期</td> <td rowspan="2">湛水散布</td> </tr> <tr> <td>中期 クリンチャージャンボ</td> <td>1kg散布：移植後15日～ノビエ3葉期 1.5kg散布：移植後25日～ノビエ4葉期</td> </tr> </table> <p>※中期剤は1圃場につき「バサグラン」または「クリンチャー」どちらか1剤散布できます。</p>	薬剤名	散布時期	散布方法	初期中期発芽期 月光1キロ粒剤	移植直後～12日 ※ノビエ3葉期	湛水散布	月光フロアブル	移植後3日～12日	月光ジャンボ	移植後3日～12日 ※ノビエ3葉期	中期中期発芽期 バサグラン粒剤	移植後25～55日	落水散布	バサグラン液剤	対象雑草：ホタルイ・クログワイ・オモダカ等	中期 クリンチャーEW(液剤)	移植後20日～ノビエ6葉期	落水散布	中期 クリンチャー1キロ粒剤	1kg散布：移植後7日～ノビエ4葉期 1.5kg散布：移植後25日～ノビエ5葉期	湛水散布	中期 クリンチャージャンボ	1kg散布：移植後15日～ノビエ3葉期 1.5kg散布：移植後25日～ノビエ4葉期	<h3>1. 耕種的防除</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カビ・細菌病 出芽温度を28～30℃を目安にする。</li> <li>○いもち病：置きき苗除去の徹底。</li> <li>○カメムシ対策 ①越冬世代幼虫密度低減のため、6月上旬に畦畔草刈りをする。 ②水田雑草のノビエ・シズイ・ホタルイ類の防除を徹底する。 ③水稻の出穂2週間前までに畦畔雑草及び牧草の刈り取りを行う。</li> </ul> <h3>2. 薬剤防除</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○種子伝染性病害防除 …テクリードCフロアブル(種子消毒済)</li> <li>○薬いもち防除 ……………Dr.オリゼ箱粒剤 散布適期は緑化期～移植当日(散布後十分に散水しましょう。) ……………側条オリゼメート顆粒水和剤</li> <li>○薬いもち・穂いもち本田防除 ……………オリブライト1キロ粒剤 ……………オリブライト250G ※出穂10日前までに使用。</li> <li>○カメムシ防除……スタークル(1回のみ) すくいとりにより発生状況を調査し、散布時期をお知らせします。</li> </ul>	<h3>1. 適期刈り取りの励行</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バインダー刈り 適期は80～90%が黄化、または穂軸の1/3が黄化。</li> <li>○コンバイン刈り 稲の85%以上が黄化。 ★高水分状態(降雨直後、降水中)での収穫は極力避ける。 ★刈り取り晩限はバインダー、コンバインともに、出穂後積算平均気温で1,050℃を目安にする。</li> </ul> <h3>2. 乾燥</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自然乾燥 収穫後直ちに棒掛けまたは、はせ掛けし品質保持のため、2週間から20日間を目安に乾燥する。乾燥不十分の時は機械乾燥で仕上げる。</li> <li>○機械乾燥 収穫後は、直ちに乾燥施設に搬入する。二段乾燥を行い、乾燥中の籾水分の均一化、過乾燥の防止、胴割れ粒の混入防止に努める。</li> </ul> <h3>3. 調整</h3> <p>篩目は1.9mmを使用。整粒歩合80%以上を目標。</p>
肥料名	施用量 (窒素成分量) kg/10a																																													
新・金札ひとめぼれ	30 (3.0)																																													
金札有機入りひとめぼれ	40~50 (4.0~5.0※)																																													
金札有機入り春専用レギュラー	100 (6.0※)																																													
側条有機入りオール10	40~50 (4.0~5.0※)																																													
有機ペースト855	40~50 (3.2~4.0※)																																													
コーペースト	25 (3.0)																																													
追肥	金札有機入り追肥 栄養診断による追肥 10~15 (1.0~1.5)																																													
基肥一発型	金札有機入りひとめぼれ一発 50~60 (5.0~6.0※)																																													
基肥一発型	金札有機入り春専用ひとめぼれ一発 100~110 (6.0~6.6※)																																													
薬剤名	散布時期	散布方法																																												
初期中期発芽期 月光1キロ粒剤	移植直後～12日 ※ノビエ3葉期	湛水散布																																												
月光フロアブル	移植後3日～12日																																													
月光ジャンボ	移植後3日～12日 ※ノビエ3葉期																																													
中期中期発芽期 バサグラン粒剤	移植後25～55日	落水散布																																												
バサグラン液剤	対象雑草：ホタルイ・クログワイ・オモダカ等																																													
中期 クリンチャーEW(液剤)	移植後20日～ノビエ6葉期	落水散布																																												
中期 クリンチャー1キロ粒剤	1kg散布：移植後7日～ノビエ4葉期 1.5kg散布：移植後25日～ノビエ5葉期	湛水散布																																												
中期 クリンチャージャンボ	1kg散布：移植後15日～ノビエ3葉期 1.5kg散布：移植後25日～ノビエ4葉期																																													

## 農薬を散布するときは、これまで以上に注意を!!

### 農薬の使用法を守り、散布履歴の記帳を徹底する



農薬の使用前には、使ってよい作物や使用量、濃度、使用時期、総使用回数などを農薬ラベルで確認し、これらを守ることが基本です。  
 散布後には、使用した農薬名や散布した量などを記帳しておきます。記帳することで成分ごとの使用回数や安全日数の確認が容易になり、また、使用基準を守っているかの証明にもなります。

